

音楽祭 ～思いを歌声にのせて～

10月20日(日)、テーマ「シャイン」のもと、音楽祭が行われました。この日のために、音楽の授業はもちろん、放課後や全校合唱の時間を使って練習を重ねてきました。曲の強弱や、音の長さやリズムに気を付けるなど、どうしたら美しいハーモニーが作り出せるのかをパートごとに考えながら活動しました。初めて全員で合わせたときの歌声は、教室でも響きかねるくらい、か細い声でした。しかし、先生にアドバイスをもらったり、パートリーダーや指揮者、そして伴奏者が呼びかけをしたりしながら練習していくことで、少しずつチーム一人ひとりの意識が変わっていきました。音楽祭の数日前から、どちらのチームもこれまでと比べものにならないくらい大きな声で歌い、歌詞をどのように表現するのかということにも工夫する様子が見られました。だからこそ、聴いている人の心に響く合唱が作り上げられたのではないのでしょうか。縦割りチームでなかまとの一体感を味わい、充実した表情で全員が歌い終えたこと、何より大切な思い出となりました。

生徒の感想より

- ・今までやってきた練習の成果をしっかりと出せてよかった。強弱やリズムなどに気を付けて歌うのは少し難しかった。
- ・練習で気を付けていたことを本番でも意識して頑張った。
- ・結果は残念だったけど、練習してきたことを出し切れることができたし、今まで以上に声も出せていてとてもよかった。
- ・みんな体育館全体に響き渡るような大きな声で歌えていて、とても迫力があつた。最後に優勝し、みんなと喜び合え、仲間との絆が深まった。
- ・指揮者の方を見て、リズムを合わせることができた。今まで音程が難しくて歌えなかったところも、本番では間違えずに歌えた。
- ・勝てなかったけど、今までより最高の歌声を出せたので満足しています。
- ・緊張したけど、自信をもって大きな声で歌えた。また、声だけでなく姿勢にも気を付けられた。
- ・パートそれぞれの声が聞こえてきて、全体的にすごくよかった。

